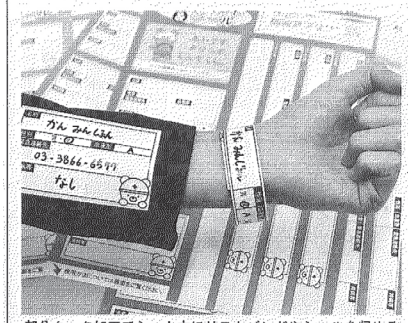
『ラベル新聞』の記事で、弊社の製品「パーシャルフォーム」を取り上げていただきました。

ラベル新聞　2026 年 2 月 1 日

「パーシャルフォーム」が進化

サンエイ　リストバンドやシールを“1枚化”

サンエイ㈱（香川県高松市郷東町、香川真志社長、☎087・882・6363）は現在、部分タック加工を施した帳票「パーシャルフォーム」を提供中。より同社の同技術に対する理解を深め、新規運用アイデアの想起を促進させる狙いから、このほど特殊配送伝票の「パーシャルフォームタイプ2」と「リスバンド付きパンプ」を開発した。



部分タック加工でシート内にリストバンドやシールを収める

パーシャルフォームは、自社の設備でホットメルト塗工とシリコーン塗工を使い分けることで、ラベルの部分と完全接着の部分を自由に選べるサンエイのオリジナル帳票。運送会社の送り状と納品書や振込用紙を一度にプリントできるように“1枚化”したり、予防接種クーポンなどで採用されたりしている。

運用メリットは、一般的な粘着紙加工帳票と違って部分的なのり抜きが可能なため、プリンタトラブルが起きづらい点、またプリンタとの相性を考慮して、剥離紙の部分貼りと全面貼りが選択できる。

物流大手の配送伝票として採用されるパーシャルフォームについて、サンエイではユーザーのニーズを叶えるため難解な設計構造の「パーシャルフォームタイプ2」（特許取得）を開発。加えて新たな需要を喚起する狙いから、同社の設備と加工技術を使い特殊パンフレットを製作した。

イベントやレジャー施設向けの「リストバンド付きパンフレット」、災害避難時に身に着ける「防災リストバンド&シール」の2種類を製造。新たな運用を開始している。

前者は、剥がして手首に巻くことで参加証や入場証明とする「リストバンド」、景品と交換できる「チケット」や「くじ」、ノベルティーの役目を果たす「シール」などで構成。剥がした下に当たり・はずれの文字情報やQRコードを入れたり、リストバンドへ後からプリンタで日時を追加印字したりできる。

また後者は、大地震や豪雨災害が〝発生してからでは遅い〟という発想から事前配布し、自宅、病院、学校、老人ホームなどでの備蓄を想定したもの。耐水性や耐候性を考慮して合成紙を採用しており、避難時にはリストバンドを腕に巻いたり、シールを衣服に貼ったりすることで、子供や怪我人の身元の照会ができる。

新商材について、同社は「片面はリーフレットとして、もう片面はシールやリストバンドなどの各種パーツとして、機能を1枚に統合した一体化商材。素材については価格面から紙素材を使用し、防災用途では強度を考慮してフィルム系素材を採用するなど、目的に応じて仕様を変更できる。また剥がした紙片についても、のりのある・なしでシールにもチケットにもできる。さらに、紙片の裏面や剥がした剥離側にも印刷が入れることも通常のラベルにはない機能。企画次第で自在にアレンジ可能だ」と説明している。

サンエイは技術を具現化したパーシャルフォームを通じて、ラベル印刷会社との協業をはじめ異業種との接点を広げる狙い。付加価値のあるシール一体型リーフレットで「新たなビジネスチャンスにつなげたい」（同社）と話している。